



News Release

報道関係各位

令和3年2月9日
IDTジャパン株式会社
東京都江東区新大橋1-8-11

4K・5Kを含む最先端のハイスピードストリーミングカメラシリーズ

IDTジャパン、業界最高クラスの高速、高解像度を実現した ハイスピードストリーミングカメラ製品「XSM」シリーズ5機種を提供開始!

最高速機種で200万画素&5,350fps、最高解像度機種で1,470万画素&400fpsでのリアルタイム転送

高速、高解像度でのリアルタイム計測や長時間記録を実現!

様々なハイスピードカメラや産業用カメラを開発・製造している米国IDT社(Integrated Design Tools, Inc.)の日本法人である、IDTジャパン株式会社(本社:東京都江東区新大橋1-8-11 大樹生命新大橋ビル4F、代表取締役社長:山口明博、以下IDTジャパン)は、超小型軽量(H58×47×44(mm)、約200g)で、業界最高レベルの撮影速度や解像度を持つハイスピードストリーミングカメラ新製品「XSM(エックスエスエム)シリーズ」5機種を、2月15日より提供開始いたします。

また、「XSM」とPCを繋いで、リアルタイムで取得された画像データをPCのメモリ若しくはHDDに転送可能にするアダプター「XSM Thunderbolt 3(エックスエスエム サンダーボルト3)」と、「XSM」カメラ最大4台とLIVE録画、再生を同時に可能にする8TBの大容量長時間記録用レコーダーを繋げるアダプター「XSM TIME CAPSULE(エックスエスエム タイムカプセル)」アダプターをオプション製品として同時に提供開始いたします。

■半導体業界やAI活用、製造ライン監視、スポーツ中継やカジノの監視など、オプション製品との連携が生む、さらなる高機能なソリューション

超小型軽量で、高速及び高解像度での画像取得が可能なハイスピードストリーミングカメラ「XSMシリーズ」は、オプション製品の「XSM Thunderbolt 3」アダプターを利用することで、特別なフレームグラバードを使用することなく、PCのメモリやHDDに直接画像データを転送でき、標準のコントロールソフトのほかにSDK、MatLab及びLabVIEWのプラグインを付属しています。半導体や半導体製造装置業界など、高精細な画像を必要とする製造業や幅広い研究・開発部門等で活用されるものと期待されています。さらに、開発者用SDKにはPythonを含みAIを活用するために大容量の画像データを取り扱いたいユーザーにとっては非常に有効なツールとなります。

また、オプション製品の「XSM TIME CAPSULE」アダプターを利用することで、カメラと長時間記録用レコーダーを繋ぐことができ、例えば「XSMシリーズ」の4Kカメラ「XSM-4K」と4K(3,840×2,160)を使用した場合、毎秒1,000フレームで合計8TBの長時間記録を行えます。LIVE及びレコーディングしながら、任意にスロー再生を行うことが可能で、製造ラインの監視システムの他、スポーツ中継やカジノでの長時間監視などにも応用が期待されています。



■ポケットサイズでリアルタイムな配信が可能な高機能ストリーミングカメラ「XSMシリーズ」

新製品「XSM(エックスエスエム)」シリーズは、超小型軽量(H58×47×44(mm)、約200g)のハイスピードストリーミングカメラです。カメラがポケットサイズで非常に小さいため、従来設置できなかった所にも設置可能となります。操作PCへの転送画像は「XSM Thunderbolt 3」アダプターを介してPCのメモリへリアルタイムで転送されます。また、「XSM TIME CAPSULE」アダプターを用いて、長時間記録用レコーダーを繋ぎ、長時間の監視を行いながら、任意のスローモーション画像をリアルタイムに確認することも可能です。

カメラレンズは、Cマウントレンズが標準となり、オプションとしてリモート操作ができるマイクロフォーサーズマウントも利用できます。

■高機能ハイスピードストリーミングカメラ「XSMシリーズ」の特長

1)優れたカメララインナップ

撮影速度、解像度にて優れた5機種をラインナップ

XSM-1540	147万画素(1440 X 1024画素)4700fps
XSM-HD	200万画素(1920 X 1080画素)5350fps
XSM-3520	368万画素(2560 X 1440画素)2400fps
XSM-4K	829万画素(3840 X 2160画素)1000fps
XSM-5K	1470万画素(5120 X 2880画素)400fps

2)業界最小クラスを実現したコンパクトで軽量のボディ

長さ58mm×高さ47mm×奥行44mm、重量200gの本体で、従来設置できなかった所での撮影が行えます。

3)撮影画像データはコマ落ち無しにリアルタイムにPCに転送されます。

操作PC内のメモリやHDDに画像データを直接転送します。従来のハイスピードカメラのように、データの転送を待つ必要はなく、PCに大容量のストレージがあれば長時間の記録が可能です。

4)マウント

レンズ用のマウントは、Cマウント(標準)。オプションでMFTマニュアルも利用できます。

5)付属ソフト、開発ツール

標準のカメラコントロールソフトMotion Studio,に加え、開発者用にSDK(Pythonを含む)、MatLab及びLabVIEWのプラグインを付属します。

■応用分野:

- ・工場／産業施設:産業機械の不具合対策(特に、半導体や半導体製造装置の製造ラインの監視)
- ・研究施設:研究開発分野での高速現象解明
- ・衝突実験:自動車・航空機・鉄道などの安全確認試験。安全装置の開発
- ・PIV(粒子画像速度計測):流れの可視化研究
- ・生物学用途:血流、細胞、微生物の研究
- ・分光学:レーザ、燃焼などの発光現象研究
- ・天文学:隕石の衝突、大気の揺らぎ研究
- ・IR施設(カジノ内での長期監視)
- ・スポーツ・バイオメカニクス
- ・他多数。



◇IDTジャパン株式会社について

IDT社(Integrated Design Tools, Inc.)は、米国フロリダ大学のPIV(粒子画像流速測定法)研究室が中心になり、1997年に設立されました。米国フロリダ州に本社を置き、高速度カメラ、PIV用ソフトウェアなどの開発、製造を行っています。企業内にCMOSの世界クラスの設計者を始め、研究者として高速度カメラの使用者の立場の人間など、各専門分野の第一線の人材を揃え、製造者側と使用者側の双方のニーズの深い理解のもとに製品設計がなされています。

2007年10月に、同じ高速度カメラのメーカーで、EastmanKodak(イーストマンコダック)社旧MASD事業部時代より4半世紀にわたる歴史を持つRedlake(レッドレイク)MASD社(ローパーグループ)のワールドワイドでの製品販売権をRoper Industries社より取得し、それによりIDTとRedlakeという世界的に強力な高速度カメラ・ブランドの製品供給を一元化して行うことになりました。IDTジャパン株式会社は、両ブランドの日本でのマーケティングおよび販売を行う国内唯一の会社として2007年12月に設立され、高速度カメラに強いアドバンテージを持ちながら、デジタルイメージング分野での産業界の多様なニーズに応えています。

〈一般の方のお問い合わせ先〉

IDTジャパン 株式会社

〒135-0007 東京都江東区新大橋1-8-11 大樹生命新大橋ビル5F

TEL 03-6659-2681 / FAX 03-6858-2536

営業部：担当者

URL： <http://www.idt-japan.co.jp/>

e-mail： support@idt-japan.co.jp

※記載されている会社名、製品名などの固有名詞は、各社の登録商標または商標です。



■参考画像



「XSM Thunderbolt 3」アダプターでカメラとノートPCと繋ぐ



高性能ストリーミングカメラ「XSMシリーズ」
(レンズは付属しません)



高性能ストリーミングカメラ「XSMシリーズ」
(本体)



「XSM Thunderbolt 3」アダプター



「XSM TIME CAPSULE」アダプター